

医療機器認証番号：14300BZZ00331000

機械器具74医薬品注入器

管理医療機器（クラスⅡ）

JMDNコード：70403000



単回使用手動式バリウム注腸用造影剤注入・排泄キット

エニマユニット[®]

大腸のX線二重造影法による精密な診断のためには、造影剤及び空気を適切に注腸するとともに、病変の多い下部大腸にたまる余分のバリウムを排出除去することが必要です。

エニマユニット は、注腸X線二重造影を衛生的に、しかも簡便に行うことができるディスポタイプ（ disposable type ）の注腸用キットです。



管理医療機器

〔統一商品コード〕 602120

〔JANコード〕 4987320602120

〔包装〕 8入

- 容易にバリウム造影剤や空気の注入・排出ができ、注腸X線二重造影に最適
- 感染防止に役立つ閉鎖循環式構造
- ディスポーザブルで衛生的

【禁忌・禁止】

適用対象（患者）

肛門・直腸の穿孔又はその疑いのある患者及び急性出血のある患者には使用しないこと。

〔症状を増悪させるおそれがある。〕

使用方法

再使用禁止

〈使用方法〉

注腸準備

- エニマバッグのキャップを取りはずし、バッグの下部吊手部分に指を通して投入口をしっかりと持ち、造影剤を必要量入れる。
- キャップの空気送入パイプ(細い方)が閉じているのを確認し、キャップを締める。(締め方がゆるいと漏れるおそれがある。)
- キャップについている太い方の接続パイプのカットラインから上部を切り取り、バリウム注入チューブを止板でとめて、接続する。(接続が不十分だと漏れるおそれがある。)
- 空気送入パイプ(細い方)に二連球をつなぐ。(注意：二連球は付属していません。)



カット-----

懸濁液の注腸法

- 空気送入パイプの止板をゆるめ、二連球(別売)によりバッグ内に空気を一杯に吹き込んだのち、止板でとめる。
- 上部吊手をスタンドにかけ、バリウム注入チューブの止板をゆるめて適量のバリウムを注腸する。

懸濁液の排出法

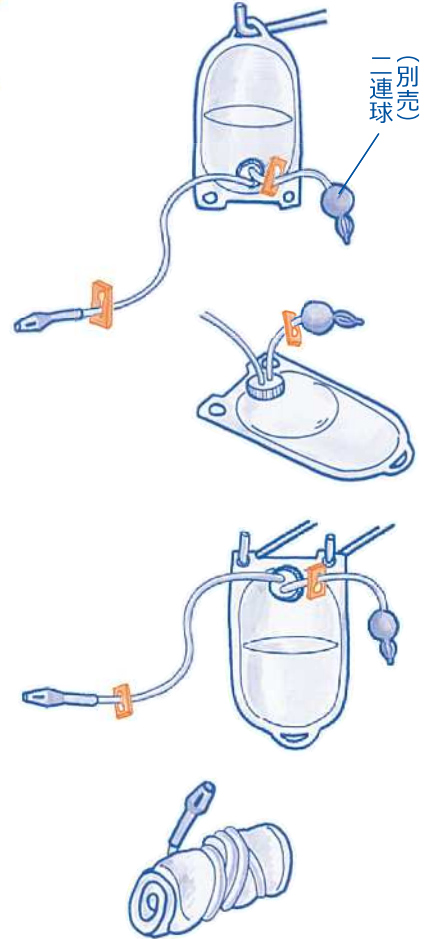
- 空気送入パイプがしまっているのを確認し、バッグを低い所におろし、バリウム注入チューブの止板をゆるめて容器内に排出させる。(戻りにくい場合は腸壁を傷つけないよう慎重にチップを左右に動かす。)

空気送入法

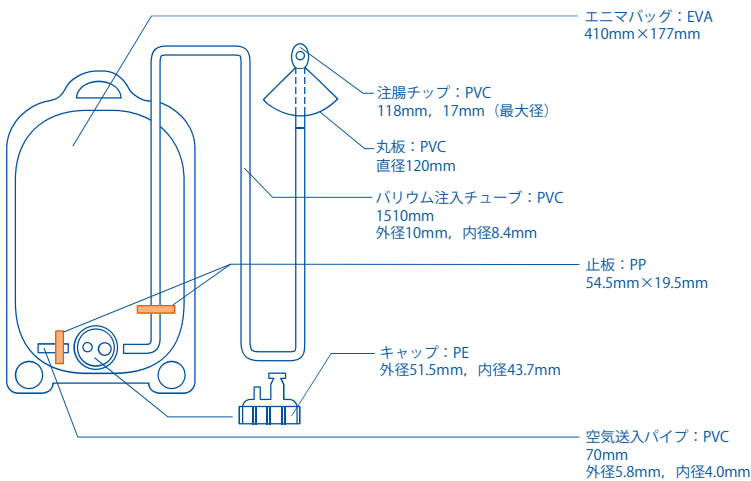
- バッグを逆さにして下部吊手をスタンドにかけ、バリウム注入チューブの止板をゆるめ、二連球を接続している空気送入パイプの止板をゆるめて、二連球で空気を送入する。(チューブを指先で押さえ、送入空気量を加減しながら送気すること。)

全操作終了後

- バリウム注入チューブを止板でとめ、更に空気送入パイプを止板でとめて「廃棄物処理法に基づく感染性マニュアル」に沿って廃棄処理する。



〈各部の材質及び寸法〉



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

〈製造販売業者〉

九州クリエートメディック株式会社
〒804-0077 福岡県北九州市戸畑区牧山海岸2-48
業態許可番号：40B1X10005
電話番号：093-882-1750

〈製造業者〉

九州クリエートメディック株式会社

発売元



堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481(代) FAX 06-6942-1505

<http://www.horii-pharm.co.jp>

詳細は電子化された
添付文書をご参照ください。

